

## 川崎市麻生区で拾得されたコミミズク（フクロウ目：フクロウ科）の記録

川島逸郎\*・堀内慈恵\*

A record of short-eared owl, *Asio flammeus* (Pontoppidan, 1763) (Aves: Strigiformes: Strigidae) collected from Asao-ku, Kawasaki City

Itsuro Kawashima\* and Yoshie Horiuchi\*

コミミズクは、樹林を主な生活圏とする種が多い本科としては例外的に、草原や原野を主な生活域とする種である。国内では冬鳥であり、都市近郊においては、主に河川敷や埋め立て地に渡来する。神奈川県では、神奈川県レッドデータブック生物調査報告書 2006（勝山他（共編），2006）では、県内の越冬地における環境悪化の各要因を挙げながら「非繁殖期・絶滅危惧Ⅰ類」に指定されているほか、「多摩川の河原に定期的に飛来していたが、近年は稀になっている。（中略）定期的な越冬地は記録されていない。秋から冬にかけて通過個体が観察されるに過ぎない」（日本野鳥の会神奈川支部（編），2013；神奈川県野生生物研究会（編），2017）と記述されている。

これまで当館においては、データを伴うものとしては、多摩川を挟んで対岸に位置する大田区羽田（羽田空港）産の仮剥製標本 1 個体（KMM-AV-50）が収蔵保管されている（永井他，2015）。本標本のオリジナルラベルには「A 滑走[略]」と記されていることから、恐らくは航空機に衝突（バードストライク）したものと推察される。

この度、川崎市西部に位置する麻生区において本種の 1 個体が拾得され、当館へ収蔵される運びになった。本稿執筆時点で標本化は終えていないが、稀な事例でもあることから速報的に記録しておく。

種名（学名）は、日本鳥学会（編）（2012）に従った。当該標本は現時点で、川崎市青少年科学館（通称：かわさき宙（そら）と緑の科学館）に収蔵、冷凍で保管されており、近い将来の標本化（剥製加工）を予定している。

報告に当たり、本個体を発見しご通知下さった山口泰民氏（川崎市建設緑政局 早野聖地公園）に深謝申し上げる。

### 記録

フクロウ（梟）目 Order Strigiformes

フクロウ科 Family Strigidae

コミミズク *Asio flammeus* (Pontoppidan, 1763)

**標本データ**： 1 ex. (性別不明)，川崎市麻生区早野（早野聖地公園），20171228，山口泰民拾得（受領：堀内慈恵），KMM-AV-362.

### 計測データ・所見：

体 長：355 mm（頭面（額部）から尾羽先端まで）

翼 長：320 mm

尾 長：160 mm

嘴峰長：28.5 mm

ふ蹠長：56 mm

体 重：244 g

拾得者によれば、同公園内で発見したという。遺体はきわめて新

鮮かつ良好な状態であった。左翼の初列風切の 1 枚（見掛け上の第 5 番目）が中程から折損していたが、その他には損傷や出血などはみられず、死亡要因については不明である。なお、初列風切や爪の先端には摩耗痕などはみられない。



図 1. 麻生区早野産コミミズク（KMM-AV-362）全形。



図 2. 麻生区早野産コミミズク（KMM-AV-362）右脚。

### 引用文献

神奈川県野生生物研究会（編），2017. 神奈川県猛禽類レポート II. 145 pp., ブイツーソリューション, 名古屋.

勝山輝男・高桑正敏・木場英久（共編），2006. 神奈川県レッドデータブック生物調査報告書 2006. 442 pp., 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

永井一雄・村山早紀・柳下庸子・堀内慈恵・川島逸郎，2015. 川崎市青少年科学館所蔵鳥類標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (25): 39–46.

日本鳥学会（編），2012. 日本鳥類目録 改訂第 7 版. xx+438 pp., 日本鳥学会, 兵庫.

日本野鳥の会神奈川支部（編），2013. 神奈川の鳥 2006-10 一神奈川県鳥類目録 VI. 362 pp., 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.

\*川崎市青少年科学館（かわさき宙<sup>そら</sup>と緑の科学館）  
Kawasaki Municipal Science Museum